

上位の施策名称	施策Ⅱ-5-1 道路網の整備と維持管理
---------	------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	道路維持課長 山崎泰助	電話番号	0852-22-5187
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	市町村中心部へのアクセス時間短縮のための県代行市町村道路整備事業		
目的	(1) 対象	市町村中心部から遠い集落に居住する住民	
	(2) 意図	市町村中心部から遠い集落に居住する住民の中心部へのアクセス時間を短縮する	
事業概要	過疎地域自立促進特別措置法、山村振興法、半島振興法の各法律に基づき、基幹的な市町村道を都道府県が道路管理者である市町村に代わって行う県代行業業により、市町村中心部から遠い集落に居住する県民の中心部へのアクセス時間を短縮する		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 総短縮時間	目標値		17.3	17.8	18.3	18.8	分
		取組目標値						
	式・定義 整備により走行速度が20km/h向上すると想定し短縮時間を算出	実績値	16.8					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	132,276	186,097
うち一般財源 (千円)	3,769	4,999

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

指標となる短縮時間は、事業費をベースに換算し、完成延長を走行した場合に短縮される時間を算出している  
 これまでに実施した市町村道代行業業5路線10kmが対象  
 $整備延長 \times (H28事業費 \div 全体事業費) = 1880m \times (168百万円 \div 2000百万円) = 157m$   
 $157m \div 20km/h = 0.5分$   
 累計短縮時間+H28短縮時間=16.8+0.5=17.3分

6. 成果があったこと(改善されたこと)

これまでの代行業業により着実に供用を図り、総短縮時間が捻出された

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」  
 ハイバス計画であるため途中供用がなく、工区完成に伴い事業効果が発揮され、事業途中では事業効果が県民に見えにくく、早期の完成が見込まれる

②困っている状況が発生している「原因」  
 現在施工中の工区は大規模土工を伴うが、幹線道路に平行するため、残土搬出ができる道路に限られることから、崎地区側一方向からの片押しによる施工となり、年間の施工量が限られる  
 道路の計画位置は急峻な地形で、現道への接続による部分共用ができない  
 当初計画では切・盛土の収支は均等であったが、土質の影響により、大量の残土が発生することとなった

③原因を解消するための「課題」  
 一方向からの片押しによる施工を考慮し、早期の工区完了に向けて、近傍に残土処理場を確保することにより施工能率が向上し、コスト削減は図る

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

早期完成を図りたいが、市町村道事業を含め、管内全体の今後の社会資本整備事業費の予算枠にも配慮する必要がある  
 より近傍の残土処理場を確保することにより、コスト削減が図られ、他の市町村道事業への影響を抑えることができる

9. 追加評価(任意記載)

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。  
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。